

性とセクシャリティの
とりどり
に寄せて
にじいろBiwako

7. トランスジェンダーとして生きること

NPO法人にじいろBiwako
理事

萌 香
(イラストも)

「LGBT」という言葉を考えるとき、多く人はレズビアンやゲイのことを思い浮かべるのではないのでしょうか。また、トランスジェンダーはどんな人なのか、あまりイメージのつかない方も多いと思います。そこで、今回はトランスジェンダーのことについて書いてみたいと思います。

トランスジェンダーとは、出生時に割り当てられた性別と自認する性別とが合致しない人のことを言います。例えば、生まれた時には医師によって男性と判断されたが、自身のアイデンティティは女性、もしくは男性でも女性でもないと感じている人。

よくある誤解は、トランスジェ

ンダーは身体の性別とは逆の性別になりたいと思っているという認識です。そもそも性別は男女の2つだけで切り分けられるものではありませんし、トランスジェンダーのなかには、何らかの治療をする人もいるし、しないという選択をする人もいます。一口にトランスジェンダーと言っても、その実態や人生は、一人一人本当に異なります。

私にとっては、自身がトランスジェンダーであるということは、自身が変わるということを確認してあげられるということです。私は長い間、自分のセクシュアリティにもやもやしたり、悩んだりしてきました。自身がトランスジェンダーであると名乗ることに葛藤もありました。でも、変化することとは、成長という名の絶え間ない性別適合(=生きること)を、続けていくための方法です。

トランスジェンダーとして生きていると、辛いことや大変なこともたくさんありますが、もう少し、この社会でもがき続けたいと思っています。

“自身の変化を認めてあげる”

